

「鎌ヶ谷市第3次行財政改革推進プラン」

～未来に希望を持てる持続可能なまちであり続けるために～

令和6年度の実績について

1 計画の目的

少子高齢化・人口減少への対応、公共施設の老朽化対策、新型コロナウイルス感染症の影響等に伴い、財政状況が厳しさを増すなど、多くの解決すべき行政課題がある中で、将来にわたって必要とされる行政サービスの提供を維持していくためには、引き続き、これまでの行財政改革の取組みを継続しながら、新たな視点として、ICTの活用や業務効率化など「経営的な視点」を取り入れ、より効率的な行財政運営を推進していく必要があります。

そのため、限られた行財政資源（財源・人材・資産）を最大限に活用するため、「健全な財政状況の維持」と「将来のまちづくりへの積極的な投資」の二つのバランスを見極めながら、経営的な視点を踏まえ、効率的で効果的な自治体運営の実現を目指します。

2 計画に定める数値目標に対する実績

項 目	目 標	令和6年度実績
① 車座集会の参加人数(累計)	3,000人 (令和8年度)	3,026人
② 経常収支比率	※1 95%未満	94.1%
③ 財政調整基金残高	※2 19億円以上	15.1億円
④ 健全化判断比率	早期健全化 基準未満	早期健全化 基準未満

※ 上記の他に「行財政改革による歳出超過の解消」も数値目標として定めていますが、行財政改革の効果は、歳入確保・歳出削減だけでなく、市民サービスの向上や事務の効率化を図られるものが多くあるため、行財政改革全体の効果額は、明らかにしていません。

※1 行財政改革推進プランにおける経常収支比率の数値目標は、減債基金繰入金を経常的な支出である公債費から差し引いた額で算出した経常収支比率を用いています。

※2 令和4年2月に策定した「財政健全化計画」に定めた目標値

3 令和6年度の実績について（全62項目）

年度終了後、取組項目ごとに「数値目標」及び「年度別計画」の2種類の評価を実施します。「数値目標」の評価は、数値目標の達成状況を評価するものであり、「年度別計画」の評価は、毎年度定める年度別計画の進捗状況を評価するものであり、「数値目標」と「年度別計画」の評価は別々に実施します。

(1) 数値目標の達成状況を評価するもの

・・・取組項目32項目

取組項目に掲げる数値目標設定数46（評価対象）

※取組項目において2以上の数値目標を掲げる取組があるため、取組項目数を超える設定数となっています。

区分	行動評価	数値目標数
A	目標を上回る達成	25
B	達成	10
C	未達成	11
合計		46

※NO.は、『取組項目の柱番号－主要項目番号－通し番号』を表します。

ア 区分A（目標を上回る達成とした取組）：数値目標設定数 25

No.	取組項目名	数値目標名	評価の理由
010202	公用車の適正な維持管理（契約管財課）	○更新台数	当初計画では車両3台の購入であったが、更新方法検討の結果、車両3台の購入から11台のリースに変更することで、購入3年分以上の車両をリースで更新でき、令和8年度までの計画を前倒してきたため。
010501	施設の維持管理の効率化及び長寿命化の推進（営繕室）	○公共施設の劣化状況評価における健全項目の割合	新築及び改修工事の実施により、計画値68.8%に対し実績値は73.4%と、計画を上回ったため。
010602	都市公園における公園灯のLED化（公園緑地課）	○公園灯のLED化の実施灯数	計画値73灯に対し実績値は78灯と、計画を上回ったため。
020102	市税等の徴収率向上（収税課）	○計画効果額 ○計画徴収率	納期内納付の推進や納税環境の整備、滞納処分等の強化を行ったことで、徴収率が向上し、計画効果額は計画値17,073千円に対し実績値105,289千円、計画徴収率は計画値97.40%に対し実績値98.02%と、計画を上回ったため。
020103	国民健康保険料の徴収率向上（保険年金課）	○計画効果額 ○計画徴収率	多様な納付チャンネルを導入したことで、計画効果額は計画値3,183千円に対し実績値102,925千円、計画徴収率は計画値84.18%に対し実績値87.94%と、計画を上回ったため。差押等を1,339件実施し、全体の収納率は前年比で増加した。

No.	取組項目名	数値目標名	評価の理由
020104	保育料の徴収率向上（幼児保育課）	○計画効果額 ○計画徴収率	滞納者への接触回数を増やし個々の状況を踏まえた納付相談を行い納付につなげたことで滞納額が減り、計画効果額は計画値 332 千円に対し実績値 2,280 千円、計画徴収率は計画値 97.47%に対し 98.64%と、計画を上回ったため。
020105	放課後児童クラブ保護者負担金の徴収率向上（こども支援課）	○計画効果額 ○計画徴収率	計画効果額は計画値 660 千円に対し実績値 1,109 千円、計画徴収率は計画値 96.30%に対し実績値 97.25%と、計画を上回ったため。
020106	介護保険料の徴収率向上（高齢者支援課）	○計画効果額 ○計画徴収率	計画効果額は計画値 3,776 千円に対し実績値 41,731 千円、計画徴収率は計画値 97.11%に対し実績値 99.12%と、計画を上回ったため。
020107	公共下水道料金の徴収率向上（下水道課）	○計画効果額 ○計画徴収率	計画効果額は計画値 9,026 千円に対し実績値 29,337 千円、計画徴収率は計画値 97.50%に対し実績値 99.30%と、計画を上回ったため。
020108	学校給食費の徴収率向上【過年度分】（給食管理室）	○計画徴収率（過年）	文書催告や電話催告を2回ずつ行い児童手当からの徴収も積極的に行い、計画値 12.95%に対し実績値 21.83%と、計画を上回ったため。
020401	企業誘致の推進（商工観光課）	○企業誘致件数	令和5年度の旧第二学校給食センター・旧トレーニングセンター跡地及び新鎌ヶ谷駅南口の県有地への商業施設の進出に続き、令和6年度は県から取得した新鎌ヶ谷駅周辺地区市有地について、公募型プロポーザル方式により事業予定者を決定し企業誘致に至り、計画を上回ったため。
030101	義務的経費を除く経常的経費の抑制（財政室）	○経常収支比率	令和6年度においては、物価高騰や人件費・扶助費の増などにより歳出は増加したものの、歳入では、各種税交付金の交付額は予算を上回り、法人住民税や固定資産税等の増により市税の決算額は前年度を上回った。結果として経常収支比率は計画値 95%未満を達成し、前年度からも改善した。

No.	取組項目名	数値目標名	評価の理由
030102	歳出全般の効率化と財源配分の重点化（財政室）	○経常収支比率	令和6年度においては、物価高騰や人件費・扶助費の増などにより歳出は増加したものの、歳入では、各種税交付金の交付額は予算を上回り、法人住民税や固定資産税等の増により市税の決算額は前年度を上回った。結果として経常収支比率は計画値95%未満を達成し、前年度からも改善した。
030103	財政健全化計画に基づく中長期的な財政運営の確立（財政室）	○経常収支比率	令和6年度においては、物価高騰や人件費・扶助費の増などにより歳出は増加したものの、歳入では、各種税交付金の交付額は予算を上回り、法人住民税や固定資産税等の増により市税の決算額は前年度を上回った。結果として経常収支比率は計画値95%未満を達成し、前年度からも改善した。
030201	単独扶助費、補助金等、負担金・分担金の見直し（財政室）	○経常収支比率	令和6年度においては、物価高騰や人件費・扶助費の増などにより歳出は増加したものの、歳入では、各種税交付金の交付額は予算を上回り、法人住民税や固定資産税等の増により市税の決算額は前年度を上回った。結果として経常収支比率は計画値95%未満を達成し、前年度からも改善した。
030301	給与・手当の適正化（人事室）	○時間外勤務時間数（枠配分ベース）	令和6年度の時間外勤務数は市役所全体で81,758時間となり、当初計画時間数との比較で1,439時間減少し、計画値「前年度実績から1%減」に対し実績値2.7%減と、計画を上回ったため。
040201	車座集会による業務改善等の推進（企画政策室）	○車座集会等への参加人数（累計）	各年度100人の参加を目標としているところ令和6年度は299人の参加があったため、計画値2,800人に対し実績値3,026人と、計画を上回ったため。
040202	人材育成の推進（人事室）	○研修受講人数（階層別、実務、派遣）	階層別研修や派遣研修の受講者が多かったため、計画値1,200人のところ実績値は1,331人と、計画を上回ったため。
040301	協働の推進（市民活動推進課）	○協働研修の理解度	協働研修に参加した職員の理解度について、計画値76%に対し実績値100%と、計画を上ったため。

イ 区分C（未達成とした取組）：数値目標設定数 11

No.	取組項目名	数値目標名	評価の理由
010201	各種印刷物、出版物の見直し（行政室）	○印刷用紙・コピー用紙年間発注枚数	計画値913万枚に対し実績値955万枚と、達成に至らなかったため。
010401	民間活力の導入・促進（企画政策室）	○民間活力検討会議開催	民間活力検討会議は、検討テーマの選定まで至らず、開催しなかったため。
020108	学校給食費の徴収率向上（給食管理室）	○計画の効果額 ○計画徴収率（現年）	計画の効果額は計画値636千円に対し実績値89千円、計画徴収率（現年）は計画値98.85%に対し実績値は98.05%と、達成に至らなかったため。
020402	デジタルサイネージの実施及び行政情報の積極的な発信（企画政策室）	○計画効果額（新規・拡大のみ）	当初見込んでいたデジタルサイネージ2台からの広告料及び市ホームページの広告掲出料の収入が減額し、計画値1,740千円に対し実績値560千円と、達成に至らなかったため。
020404	ふるさと納税制度の活用（財政室）	○ふるさと納税寄付金効果額	総務省においてふるさと納税募集対象経費の見直しがあり、寄附設定額の見直しを行ったことにより、計画値64,514千円に対し実績値46,809千円と、達成に至らなかったため。
030103	財政健全化計画に基づく中長期的な財政運営の確立（財政室）	○財政調整基金年度末残高	早期に着手しなければならない事業が集中していることや社会保障費や人件費の増などの対応に基金を活用していることから、計画値19億円に対し実績値15.1億円と、達成に至らなかったため。
030104	財務会計システムの検証及び統一的な基準による地方公会計制度の活用（財政室）	○財務書類等の作成及び公表	財務書類等の公表について、年度をまたいだ公表となったため。
030302	定員・組織の適正化（人事室）	○職員一人あたり人口（人口／職員数）	令和6年度は組織の新設や保健師の育休代替職員の配置により職員数が増員となり、計画値147.0人に対し実績値139.9人と、達成に至らなかったため。

No.	取組項目名	数値目標名	評価の理由
040203	窓口サービスの向上（人事室）	○窓口対応の研修参加数	窓口対応の研修参加者増加を図るため、各課連絡で周知を行ったが、計画値 150 人に対し実績値 140 人と、達成に至らなかったため。
040301	協働の推進（市民活動推進課）	○協働アドバイザーによる相談件数	計画値 156 件に対し実績値 59 件と、達成に至らなかったため。

（２）年度別計画の進捗状況を評価するもの・・・取組項目 62 項目

区分	全体評価	項目数
A	計画を上回る	1
B	計画どおり	52
C	一部未実施	9
D	未実施	0
合計		62

ア 区分 A（計画を上回るとした取組）：1 項目

No.	取組項目名	評価の理由
020401	企業誘致の推進（商工観光課）	年度別計画の各項目については、予定通り実施するとともに、特に「新鎌ヶ谷駅南口の土地活用の実現」は、まちづくりの観点から昼間人口の増加やにぎわいの創出、さらには駅前にふさわしい土地活用を図るため、県保有地を市が購入し、公募型プロポーザルを実施するという前例に倣われ、ない手法で土地活用事業者の募集を行い、市税収入や昼間人口の大幅な増加につながる大規模オフィスの誘致に成功したため。

イ 区分 C（一部未実施とした取組）：9 項目

No.	取組項目名	評価の理由
010102	基幹系業務システムの標準化（DX推進室）	おおむね計画どおりに進捗しているが、セキュリティポリシーの改正が未実施であるため。
010108	統合型GISの導入（企画政策室、DX推進室）	全庁的に保有及び活用している地図データ（システム、紙、電子データなど）の情報収集を行ったが、各課の活用希望や導入時期等を検討することに時間を要し、導入方針（案）等の策定まで至らなかったため。

No.	取組項目名	評価の理由
010109	A I－O C Rの推進及びR P Aの導入 (企画政策室)	RPA について、情報収集の結果セキュリティ面でさらに検討すべき点が判明し、実証実験の実施には至らなかったため。
010116	災害情報共有システムの導入 (安全対策課)	関係部署との協議に時間を要し、令和7年度の導入に至らなかったため。
010117	保育園の I C Tシステムの導入 (幼児保育課)	事業の実施が当初の予定から1年先送りとなったことから、方針決定等についても次年度に改めて行うこととしたため。
010122	公園台帳のデジタル化 (公園緑地課)	調査に時間を要し、業務プロセスの見直しや職員の知識向上のための研修計画などについて、検討中であるため。
010201	各種印刷物、出版物の見直し (行政室)	削減方針の策定には至らなかったため。
010401	民間活力の導入・促進 (企画政策室)	検討テーマの抽出については、先進市の事例や業者からの情報を収集するなどを行ったが、方針の策定までには至らなかったため。
030104	財務会計システムの検証及び統一的な基準による地方公会計制度の活用(財政室)	概ね遅滞なく実施できたが、方針に基づいた財務書類等の活用は活用方針の検討に留まったため。